

2019 年度 営業計画

●利用促進重点項目

(1) 沿線住民(企業含む)の利用拡大

- ア ダイヤの改善に関するお客様等からの意見聴収
- イ 沿線の子供向け鉄道体験等の提案
- ウ 学校への授業取り込みセールス
 - ① 沿線小中学校、高校へ授業カリキュラム・部活動組込の提案
 - ② 沿線学校とのコラボ企画の実施、実施校の拡大
- エ 高齢者の利用促進
 - ① 新塗色車両を使用した親子3世代乗車の誘発企画
 - ② 沿線住宅へのチラシ投げ込み等の宣伝活動

(2) 交流人口(観光利用)の誘客・拡大

- ア 団体・定期列車やイベント列車の拡充
 - ① 団体・定期列車乗車旅客に対する観光誘致
・木古内での接続改善、函館増発を重点にした宣伝PR
 - ② 「ながまれ海峡号」団体を通した沿線PR
 - ③ 首都圏・東北・札幌 AGT へのセールス
- イ 外国人観光客の受入環境整備と誘致
 - ① 外国人向け宣伝ツールの拡充(HP、パンフレット)
 - ② 台湾鉄路との情報交換・連携・現地PR活動の検討
 - ③ 国際便到着時のPR活動(函館空港 6, 9, 2月)
- ウ 沿線誘客資源の発掘と紹介
 - ① 夜景・夕景観賞列車の運行期間拡大
 - ② 沿線イベントの駅頭・HPでの紹介
 - ③ 沿線商店街、沿線観光協会等との車内販売イベント検討
- エ 初利用者向けの対策と途中下車の誘発
 - ① 沿線散歩マップの作成
 - ② パンフレット配置箇所の拡大

(3) 鉄道事業外収益の拡大、五稜郭売店の活性化

- ア 五稜郭駅売店の来店客と客単価の向上
 - ① シーズンスポット商品の検討
 - ② セット割引販売の検討
 - ③ 鉄道他社グッズの販売
- イ オリジナルグッズの開発・販売
 - ① 新商品の設定・販売
 - ② 沿線企業・福祉団体とのコラボ商品の開発
- ウ 沿線の観光・飲食施設との連携
 - 周遊券利用者へのインセンティブ設定検討

(4) 地域活性化の取組

ア 沿線価値の向上と地域の活性化

- ① 沿線福祉団体・自治会との駅前イベントの実施
- ② 函館トリエンナーレ(6/28-7/21)等、芸術イベントへの協力

イ 地域活性化団体等との連携

地域応援隊への駅頭・車内での盛り上げ支援の依頼

- ・車内・駅頭での絵画展、写真展の実施
- ・季節感を演出する装飾の実施（車内・駅舎内）
- ・夜景列車運行時の駅の電飾、雪像作り

ウ 鉄道ファンの誘客と育成

- ① 鉄道イベントへの参加・出店（東京・札幌・函館 JR 貨物イベント・金森倉庫イベント）
- ② 鉄道ファン向け沿線情報の提供
 - ・撮影地情報の提供と地元宿泊・飲食施設の紹介

エ 他鉄道事業者との連携

- ① JR北海道函館支社との共同宣伝活動（鉄道関連イベント）
- ② 秋田内陸線・青い森鉄道を中心とした東北送客イベントの実施（駅頭、車内宣伝）
- ③ 他社国鉄塗色車両所有会社との連携
 - ・共通塗色を主軸とした相互地域宣伝の提案（JR 釧路支社・いすみ鉄道・しなの鉄道、等）

オ 当社及び沿線地域の認知度、結び付きの向上・拡大

- ① SNS の活用、メディアを活用した情報の提供
- ② 沿線店舗企業へコラボ商品の提案

(5) その他、今年度特有の事項

ア 元号の改正に伴う、システム改修・西暦化（4月中）

イ 消費税率改定に伴う、旅客運賃上限認可申請・各種届出

- ① 旅客運賃上限認可申請7月上旬予定(認可8月下旬目標)
- ② 各種割引運賃届出…8月中
- ③ 消費税率改定に伴う運賃改定…10/1 予定